

第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応 募 者 に 関 す る 情 報

記入日： 2012 年 11 月 30 日

応 募 者 情 報	
応 募 団体名	(フリガナ) ヨコハマシ (ニシクヤクシヨ)
	(団体名) 横浜市 (西区役所) <small>※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。</small>
応 募 担当者 連絡先	団体名： 横浜市西区役所
	所在地： 〒220-0051 神奈川県横浜市西区中央一丁目5番10号
	部署名： 区政推進課
	役職名： 企画調整係
	氏 名： 萩原麻紀子
	TEL： 045-320-8327 FAX： 045-322-9847
	E-Mail： ma00-hagiwara@city.yokohama.jp
ホームページ	http://www.city.yokohama.lg.jp/nishi/
応募団体の主たる事業 (※行政の場合は、記入は不要。最大 2000 字入力できます。詳細は別紙添付可)	

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data_list.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット認証を取得済みの活動については、認証番号もあわせて記載下さい。

被災地支援・第37回西区民まつりのカーボン・オフセット

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類

http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki_jun.pdf

<カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

【例】3①-1に記載した算定範囲と同じ or 算定範囲のうち、○○、○○の部分に関してカーボン・オフセットの対象とした

第37回西区民まつりで排出されるCO2

- 会場の電力使用
- 機材の搬入・撤去に伴う運搬車の使用
- イベント来場者向け貸切バスの使用

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続している事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

【例】2009年4月1日から2009年10月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格外

2009年4月1日から2012年3月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格有

2012年3月15日以降、現在も継続中（終了時期未定）の場合 ⇒応募資格有

- 2012年11月4日

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社 HP 等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URL を記載願います。

- 横浜市西区役所 イベント紹介 HP
<http://www.city.yokohama.lg.jp/nishi/pi/h2410/h2410-02.html>

3. 1次審査項目

①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

(自己活動オフセット支援以外の場合)

①-1 排出量の算定方法及び算定範囲

・算定対象

- 第 37 回西区民まつり (2012 年 11 月 4 日開催)

・算定範囲

- 会場の電力使用による排出量
 - 機材の搬入・撤去に伴う運搬車の使用による排出量
 - イベント来場者向け貸切バスの使用による排出量
- 合計排出量は、860.7kg-CO2 となった。

算定に当たっては、カーボン・オフセットの対象活動から生じる温室効果ガス排出量の算定方法ガイドライン (Ver. 2.0) を用いた。

①-2 排出量の算定に利用したデータ種類

会場の電力使用量、機材を搬入する車の台数と移動距離、バスの台数と移動距離

(自己活動オフセット支援の場合)

①-3 利用者に帰属する排出対象活動

【例】利用者の 1 日の日常生活に伴う排出量 ○○kg

【例】購入製品使用時に伴う利用者に帰属する排出量のうち購入後 1 年分にあたる、○トン。商品販売時に顧客に提示。

①-4 利用者に対する排出量の提示方法

②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください (複数可)。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

- 節電 節水 廃棄物の減量化 省電力機器の導入 公共交通機関の利用・呼びかけ
- その他 (具体的に _____)

③オフセットの手続き

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合（%）についても記載してください。【例】J-VER（〇%）、CER等（△%）など

J-VER（1トン）

排出権識別番号：JP-200-000-000-036-72

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

排出権創出事業者：釜石地方森林組合

事業内容：釜石地方森林組合による集約化施業（森林整備活動）を用いた温室効果ガス吸収事業

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

取消、償却実施年月、もしくはその予定についてお書きください。

2012年10月25日無効化済み

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

■ 排出削減努力について

今回のイベントを開催するにあたり、来場者には区が用意した貸切バスを利用するように呼びかけを行なっていました。当日の来場者には貸切バスを利用していただいた人も多く、自家用自動車などの利用車に比べ、CO2 削減努力を行うことが出来ています。また、バス自体も圧縮天然ガス（CNG）と電気モーターを使用したハイブリッド型であり、ガソリンや軽油を利用する型と比べても CO2 を削減することができています。また、ゴミの削減、分別による環境活動も行いました。

■ 関係者との協力について

区政推進課がイベントの実行委員会との会議へ出席するなどして、関係者に対しカーボン・オフセットの趣旨や削減努力の必要性などについて具体的な説明を行い、カーボン・オフセットへの取組を働きかけました。イベント全体のCO2の算定は、西区が委託したオフセットプロバイダーに協力を頂きました。

2. カーボン・オフセットの内容

■ 取組の意義・重要性について

西区では、地域での環境行動を推進していくために、第37回西区民まつりのカーボン・オフセットを実施しました。区民にとって最大のイベントである区民まつりにおいてカーボン・オフセットを実施することで、多くの来場者に環境貢献への取り組みを啓発することができます。イベント会場には、カーボン・オフセットの取り組みを証明する証書を飾り、カーボン・オフセットの仕組みを説明するポスター等も同時に掲示し、来場者への広報を行いました。

また、今回の取り組みでは被災地岩手県釜石地方森林組合のJ-VERを用いました。これにより、同組合の森林保全に貢献できるだけでなく、東日本大震災の被害を受けた場所の被災地支援も同時に実施することにつながっています。

■ 取組の継続性・展開について

次年度以降においても、引き続き被災地のクレジットを用いたカーボン・オフセットの実施を検討しており、区民の先頭に立って環境配慮活動を行なっていきます。

3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

②地域・社会の面での貢献に関して

西区民まつりは毎年恒例のイベントとして開催されており、多くの区民が集まる区内最大のイベントです。当日の会場は、くらしの広場、子どもの広場などの会場ごとに、野菜即売会、ダンスステージなど、様々な企画が行われ、毎年多くの人を訪れます。

この区民まつりにおいて、西区役所では今年度よりカーボン・オフセットを始めました。多くの区民にカーボン・オフセットを普及啓発することで、区民の環境意識の向上を図ることができます。そして、被災地釜石地方のJ-VERを用いたカーボン・オフセットをすることで、環境貢献だけでなく、被災地貢献にもつながる取り組みとなっています。

引き続きカーボン・オフセットの取り組みをイベントやHPで広報していくことで、区内の団体や企業にも取り組みが波及するよう活動を続けていく予定です。

4. 普及啓発の創意工夫とその成果

■取り組みの工夫に関して

カーボン・オフセットの実施にあたり、主体者にはCO2排出削減の努力が求められます。西区では、来場者に対し区が用意した貸切バスを利用するように呼びかけを行いました。バス自体も圧縮天然ガス（CNG）と電気モーターを使用したハイブリッド型であり、ガソリンや軽油を利用する型と比べてもCO2を削減することができています。また、ゴミの削減、分別による環境活動も行いました。これらのCO2削減活動によって、より環境に配慮した区民まつりを開催することが可能となりました。

■人々や社会に与えた影響に関して

今回のカーボン・オフセットには、少しでも被災地を支援したいとの思いから、岩手県釜石地方森林組合により創出されたクレジットを用いることとしました。被災地の復興はまだ遅れています。今後も被災地への貢献ができるよう、引き続きイベントでの被災地クレジットの利用を検討していきます。

5. ストーリー性

■取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」に関して

西区では、来場者に対し区が用意したハイブリッド型の貸切バスを利用するように呼びかけを行ってまいりました。CO2排出量の削減だけでなく、環境に配慮されたバスの普及にも貢献しています。

■低炭素社会の実現への貢献に関して

西区民まつりは、ハイブリッド型バスの利用やごみの削減、分別によるCO2排出量削減だけでなく、カーボン・オフセットを追加的に実施することで、さらに環境に配慮したイベントとすることができました。さらに、釜石地方森林組合のクレジットを用いたことで、被災地への資金還流にも貢献しております。

今後も引き続きカーボン・オフセットの実施を検討しており、環境未来都市である横浜市の一つの区として、引き続き環境配慮活動を行い、地球温暖化防止および被災地への貢献へと繋がる取り組みを目指します。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDFの場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG等）お送りください。

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

(担当：入山、井上)

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp